

1. 件 名：日本原子力研究開発機構との1Fデブリ分析の許認可予定に係る面談

2. 日 時：令和2年9月15日（火）13：30～14：05

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、森光係長、菅原企画調整官、真田係長、本多審査官、田村管理官補佐

核燃料施設審査部門

森口管理官補佐、山後安全審査専門職

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

宇野課長補佐、伊藤係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他3名

廃炉環境国際共同研究センター 燃料デブリ研究ディビジョン

三次副ディビジョン長 他1名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、資料に基づき、機構における1Fデブリ分析の許認可取得予定について、主に次の説明があった。

- ・東京電力の計画（2021年度に試験的取出し、2023年度以降に段階的に取出し規模を拡大）を踏まえ、これに間に合うように必要な許認可を取得すべく、機構内で準備をしているところ。
- ・2023年度に開始される段階的な取出し規模の拡大の際は、NFDの輸送容器（設計承認申請済）を使用予定であることもあり、現時点では、機構が輸送容器の容器承認を取得する予定はない。

このほか、規制庁からの質問に対し、機構から次のとおり回答があった。

- ・機構の分析・研究施設（大熊・第2棟）については、特定原子力施設の一部として、福島第一原子力発電所敷地内に設置予定。また、東京電力は、2023年度以降の段階的な取出しに向けて、同敷地内にデブリの一時保管庫を設置予定と聞いている。
- ・デブリについては、分析が終わり次第、回収不可能なものを除き、福島第一原子力発電所に返還予定。
- ・デブリの輸送については東京電力の責任の下行われるものと認識している。

6. 事業者配布資料

JAEAにおける1Fデブリ分析の許認可予定について